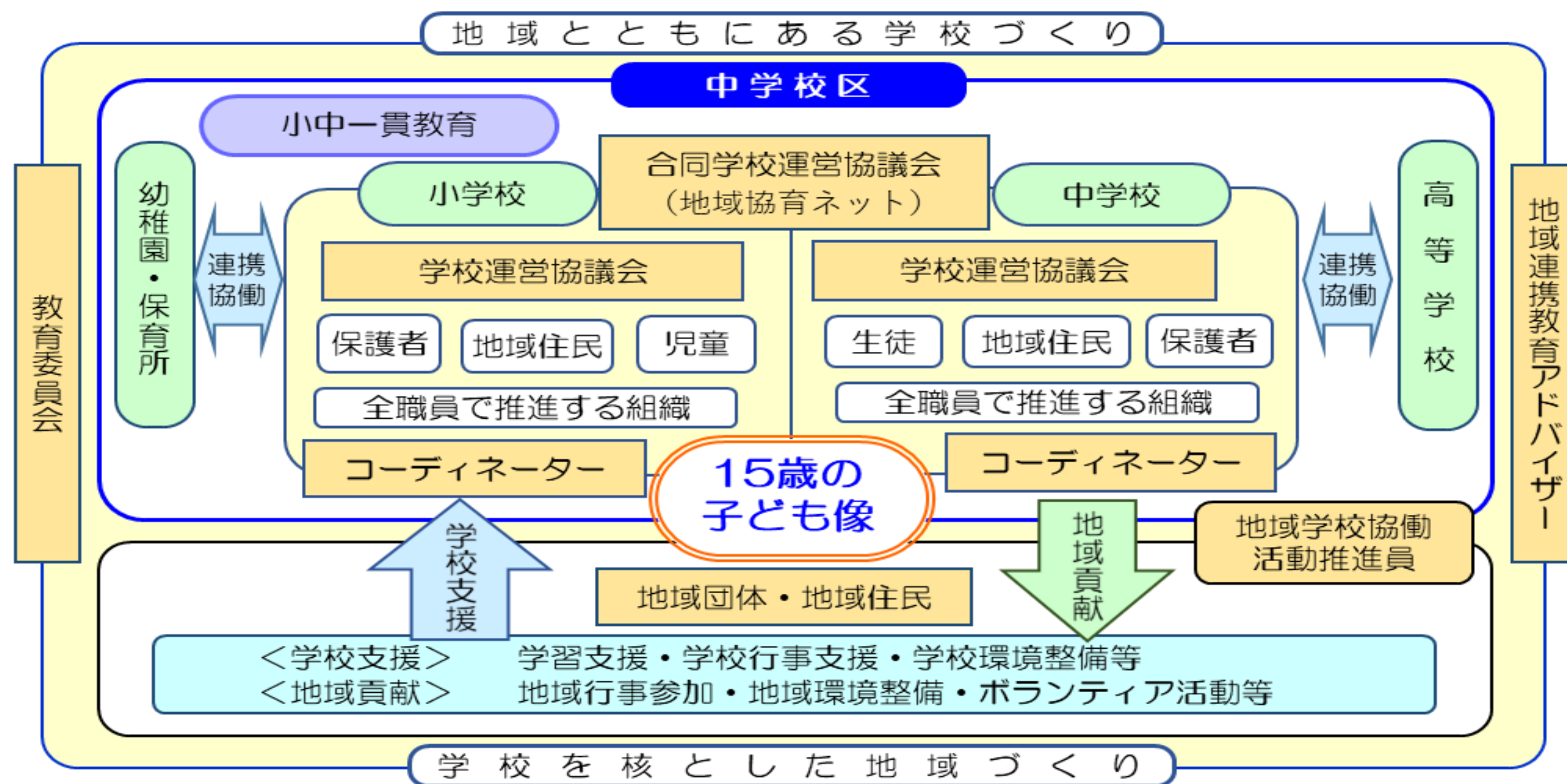




光市の推進構想 『連携と協働で育む光の教育』

◆光市がめざすコミュニティ・スクールの方向性

中学校区で「15歳の子ども像」を共有し、学校も家庭も地域も、それぞれが子どもと真剣に向き合い、子どものことを真剣に考える『共に育てる+共に育つ』の視点のもと、お互いに自らできることについて、知恵を出し合う活動をとおして、学び合う組織と学びでつながるコミュニティ・スクールをめざします。



◆光市におけるコミュニティ・スクールの充実に向けた重点取組

- 主体的・対話的な学校運営協議会の充実
 - 【対話・信頼】 学校運営協議会の事前打ち合わせの実施
 - 【当事者意識】 教育課程の編成や授業について、委員や子どもと一緒に協議する場づくり
 - 【共有・PDCA】 学校・地域連携カリキュラムや学校運営協議会、熟議で決まったことの見える化
- 各種研修会の実施
 - ・ 光市コミュニティ・スクール研究協議会（年2回開催）
 - ・ 地域協育ネット研修会
 - ・ 地域学校協働活動推進員連絡会

重点取組事項の進捗を測る指標

C S 研究協議会のアンケートや学校評価を通じた検証

活動取組

室積学園

生徒総会への小学生の参加



中学校の生徒総会に小学生が参加し、地域の祭りを盛り上げるため、自分たちに何ができるかを話し合った。

光井学園

小中合同学力熟議



児童生徒が参加する小中合同学校運営協議会において、「学び合う子」をテーマに熟議を行った。

あさなえ学園

潮音寺山まつり



地域の祭りに中学生がブースを出すなどボランティアで参加し、多くの小学生が憧れの気持ちを抱いた。

教育フォーラムin光

「私たちの学園」について語り合う座談会



「私たちが創るやまと学園」をテーマに、大和地域1中、4小の児童生徒による座談会を行った。